

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市営住宅維持管理事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1954(S29)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	公営住宅法、枚方市営住宅条例、枚方市営住宅条例施行規則 等				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	住宅に困窮する低所得者で、高齢者世帯・ひとり親世帯・障害者世帯などの入居世帯									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	低所得者の福祉世帯向け住宅であることから、福祉部門や関係機関との連携をとりながら支援を行う。また家賃滞納者への適切な指導や、減免対象者への減免制度への誘導措置なども併せて行い、入居者の生活の安定を図る。									
	ターゲットが抱える課題										

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	入居者が、自立し、安心して日常生活がおくれる住宅の供給が出来る状態。									
-----------------------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与し、入居者が快適な共同生活を営むことが出来るように住宅施設の適正かつ合理的な管理を行う。</p> <p>津田元町住宅 RC造3階建、平成7年築、延床面積651.98㎡、管理戸数8戸、入居戸数6戸 津田北町住宅 RC造5階建、平成9年築、延床面積1,276.25㎡、管理戸数20戸、入居戸数20戸 ・現入居者に対する家賃決定や使用料の徴収等の入居者管理及び公正な入居者募集。 ・施設の維持管理については(給水設備、エレベーター設備保守点検、消防用設備保守点検)業務委託。 建築物・建築設備定期点検業務等を委託している。</p>									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	市営住宅が適正に維持管理されている。				インプット(活動)	必要な維持管理業務を実施する。			

指標設定	指標説明					委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検の回数			
	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	4	4	5	4
	実績					86.14	97.33			4	4		
	達成度									100%			
分析					予定通り委託を行った				予定通り委託を行った				

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	市営住宅が適正に維持管理されている。				インプット(活動)	必要な修繕業務を行う。			

指標設定②	指標説明					委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕回数			
	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	15	15	15	15
	実績					37.40	28.50			10	9		
	達成度					172%				140%			
分析					故障個所が前年より少なかった				故障個所が前年より少なかった				

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					低所得者の福祉世帯向けへの住宅提供				入居者の募集			
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				市営住宅全28戸の入居割合				計画的な入居募集			
	単位				単位				回			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込)				100 100 100 100				3 1 1 1			
	実績				92.80 89.28				3 1			
達成度				89%				100%				
分析				年末から年度末に向けて退去が2件あった				車いす専用住戸に入居があった				
ロジックモデル④	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					市営住宅の維持管理を行うための特定財源の確保				入居者からの家賃等の徴収			
指標設定④	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				特定財源で市営住宅の維持管理等、全て賄うことができる				家賃等の徴収			
	単位				単位				千円			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込)				8,000 8,000 8,000 8,000				8,000 8,000 8,000 8,000			
	実績				7,872 5,406				7,872 7,984			
達成度				68%				100%				
分析				予算通り特定財源で賄えた				滞納なく全て収納できた				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	5,583	5,500		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,017	5,583	5,500		
	物件費計	0	11,112	5,770	8,035	72%
	歳出計	8,017	16,695	11,270		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	7,876	7,914	7,521	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	91	70	1	
	歳入計	0	7,967	7,984	7,522	
	一般財源	8,017	3,145	▲ 2,214	513	

5. 総括的分析

総括的分析	安心安全な住戸環境を維持するため、保全計画に基づく改修や、結露対策に係る外壁改修などの設計委託を行った また、例年どおり保守点検等の委託を予定通り継続し、故障箇所については適宜修繕を行った
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、安心安全な住居環境の維持に努める

事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産区管理会運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	総務部				課	財産管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			内部事務			区分			一般内部管理事務	
事業期間	不明			年度			~						年度まで	
根拠法令等	地方自治法第296条の2第1項及び296条の4第1項 枚方市財産区管理会条例													
関係補助金名称											サンセット			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		財産区管理会											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		財産区管理会が円滑に運営できない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	財産区管理会が円滑に運営できている状態。													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 設置されている23の財産区管理会は、市長が財産区の財産または公の施設の管理、処分、廃止に関する事務を執行するにあたり、審議し同意を与える。 財産区の財産または公の施設の管理等を執行する。 													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					財産区管理会が円滑に運営できる。				財産区管理会運営事務を実施する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				財産区管理会で決定された案件数				財産区管理会の開催回数					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
	達成度				58%				58%					
	分析				新型コロナによる管理会開催回数と連動した案件数の減少となった。				コロナ禍による最低限の管理会開催となり減少となった。					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,085	6,071	6,020		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,085	6,071	6,020		
	物件費計	683	305	215	297	72%
	歳出計	6,768	6,376	6,235		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	683	305	215	313	
	歳入計	683	305	215	313	
	一般財源	6,085	0	0	▲ 16	

5. 総括的分析

総括的分析 管理会の運営状況は、5財産区で計7回(費用弁償の対象は7回215,000円)

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	財産区財産についての苦情対応や管理方法などの課題については適宜、管理会を開催し、地元住民の代表である管理委員と十分な協議を行い、管理委員が状況を把握し、自ら意思決定できるよう努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産区議会運営事務															
測定年度	2021(R3)年度				部	総務部				課	財産管理課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり													
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理			特性			内部事務			区分			一般内部管理事務			
事業期間	不明			年度			~						年度まで			
根拠法令等	地方自治法第295条 枚方市財産区議会設置条例															
関係補助金名称											サンセット					
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		財産区議会													
	サブターゲット															
	ターゲットが抱える課題		財産区議会が円滑に運営できない													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	財産区議会が円滑に運営できている状態															
事業概要	各財産区の財産管理及び処分等の適正な執行を行うため、議会で審議し議決に基づき事務を執行する。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
					財産区議会が円滑に運営できる。				財産区議会運営事務を実施する。							
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	指標説明		単位		単位		件		単位		回					
	指標種類				増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	目標(見込み)								31		31		31		31	
	実績								26		23					
達成度								74%						100%		
分析								令和3年度は、財産区議会の開催回数が前年度と比べて減少したことにより、案件数も減少した。						令和3年度の財産区議会、全員協議会の開催回数にはほぼ見込みどおりではあったが、前年度と比べると減少した。		

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,089	5,762	5,222		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,089	5,762	5,222		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	8,089	5,762	5,222		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,089	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、財産区議会の開催回数が前年度より減少したものの、適切な議会運営に取り組んだ。なお、令和2年度末をもって菅原財産区議会が廃止され、令和3年度より財産区管理会へと移行している。(開催回数:議会 4回、協議会 4回、案件数:議会 13件、協議会 10件)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も財産区議会の運営が円滑に進むよう適切な議会運営に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産区財産管理事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	地方自治法第294条等、地方自治法第296条の2第1項及び296条の4第1項、枚方市財産区管理会条例、枚方市財産区地域公共事業等交付金交付要綱										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		各財産区に居住する地域住民								
	サブターゲット		-								
	ターゲットが抱える課題		これまで財産区財産(井溝、ため池、墓地、山林など)の維持管理は、各権利者(水利権者、墓地管理委員会、立木支配権者など)が行っていたが、高齢化の進行や農業用水、材木の利用減少などにより、管理不良物件が増え、財産区基金のない地区は、近隣から財産区財産の日常管理(除草等)に関する苦情があっても対応が困難な状況となっている。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	不要となった財産区財産は処分(売却)、市へ寄付するなど、管理主体を明確にし、適正な財産管理ができる状態。権利者関係同意を要する事務については、権利者からすみやかに同意が得られる事務処理の実施ができる状態。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・財産区が所有する基金管理の各種事務、隣接地等の申請に基づく土地境界明示、立会、財産管理のため現地調査、土地等の処分、貸付・占用許可事務を行う。 ・財産区地域公共事業等交付金の交付を行う。 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					管理主体を明確にし、適正な財産管理ができる。				財産区が所有する基金管理の各種事務、隣接地等の申請に基づく土地境界明示、立会、財産管理のため現地調査、土地等の処分、貸付・占用許可事務を行う。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				交付金事業件数				枚方市財産区地域公共事業等交付金交付件数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	日標(見込み)						59	59	59	59	59	59	59	59
実績						45	52			45	52			
達成度				88%				88%						
分析				新型コロナの影響により見込件数の減少が生じた。				交付金事業件数は見込み数に達することができなかったが適正な事務執行に努めることができた。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,760	12,630	12,560		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,760	12,630	12,560		
	物件費計	41,057	1,015,648	93,376	137,031	68%
	歳出計	48,817	1,028,233	105,936		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	41,057	1,015,496	93,271	136,687	
	歳入計	41,057	1,015,496	93,271	136,687	
	一般財源	7,760	152	105	344	

5. 総括的分析

総括的分析 財産区地域公共事業等交付金の交付申請52件(交付金額は、71,321,842円)

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	正確かつ迅速な事務遂行に努め、現状のまま事務を執行する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公有財産管理事務											
測定年度	2021 (R3) 年度			部	総務部			課	財産管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		
事業期間	不明			年度	~	年度まで						
根拠法令等	地方自治法等											
関係補助金名称	サンセット											
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		公有財産を所管する部・課の職員(財産取扱主任等)									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		公有財産の維持・保存のための適正管理を図ることが出来ない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	所管する公有財産の把握、維持管理に必要な事務(境界明示、測量等)の理解、維持管理費用の予算化を行い、適切な維持管理が行うことができる状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産の処分、賃貸借等を行う。 ・行政財産等の管理に関する協議を行う。 ・財産台帳の調整(更新)を行う。 ・市有地の測量及び寄附帰属物件も含め登記を行う。 ・建物総合損害共済の加入及び全国市長会市民総合賠償補償保険の請求事務を行う。 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					適正な公有財産の維持管理や取得、処分事務ができる。				普通財産の取得、管理及び処分、行政財産の管理の総括事務を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				当部署所管の普通財産等(土地)のうち、処分・貸付・庁内利用等、活用を行った財産の割合 【算出式:各年度の普通財産等(土地)活用件数/当部署所管の普通財産等件数×100】				各年度における当部署所管の普通財産等(土地)の処分・貸付・庁内利用等、活用を行った件数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値(見込み)				11 89 89 91				9 39 39 40			
	実績				17 89				10 40			
	達成度				100%				103%			
分析				引き続き未利用地の活用に取り組む。				概ね予定どおりの活用が図れた。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					寄附、帰属の登記を行うことで法的にも適切な管理を行うことができる。				開発区域内で寄附・帰属を受けた物件の登記を行う。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				寄附、帰属の登記件数(当該年度)				寄附、帰属物件数(当該年度)			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値(見込み)				81 81 81 81				81 81 81 81			
	実績				81 122				81 122			
	達成度				151%				151%			
分析				寄附、帰属を受けた物件のうち必要な標題登記及び地目変更を行った。				例年より多くの寄附、帰属を受けた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,887	12,191	11,242		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—		0		
	人件費計	6,887	12,191	11,242		
	物件費計	14,594	15,088	17,743	20,618	86%
	歳出計	21,481	27,279	28,985		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	286	286	286	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	90,621	231,599	161,789	
	歳入計	0	90,907	231,885	162,075	
	一般財源	21,481	▲ 75,819	▲ 214,142	▲ 141,457	

5. 総括的分析

総括的分析 年間を通して適切な財産管理が図れた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き適切な財産管理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	土地開発公社運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市土地開発公社			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公社が保有する長期保有地等の保有簿価が増加しないよう、計画的な市からの買戻しが必要であり、毎年度定める、経営指標を下回る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公社が保有する公共用地の買戻し等の実行により、保有簿価を縮減し、経営指標の維持をめざす。				
事業概要	枚方市土地開発公社の経営健全化に向けた取り組みを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						国の定める経営指標値を下回り、健全な経営状況を維持できる。				公社が保有する長期保有地等の保有簿価が増加しないよう、保有簿価の管理を行う。			
指標説明						標準財政規模に対する長期保有額の割合 (国が定める経営指標) 【算出式: 保有額/市の標準財政規模】				各年度末長期保有簿価			
指標種類		単位				単位				単位 千円			
		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					0.2未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	5,314,000	4,042,000	3,942,000	3,842,000
	実績					0.07	0.06			5,222,782	4,120,768		
達成度										98%			
分析						新規取得を買戻しが上回ったため減少した				年度末に健全化目的の買戻しを行った			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	7,178	7,071		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,017	7,178	7,071		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	8,017	7,178	7,071		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,017	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 新規事業については、新規取得、買戻しともに進捗しており、事業が順調に進んでいる
 長期保有地については、健全化対策のため年度末に追加の買戻しを実施し、保有高が減少した

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き買戻しを実施し、保有高の縮減に努める

事務事業実績測定調査

事務事業名称	不動産鑑定等事務											
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	財産管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		
事業期間	不明			年度	~			年度まで				
根拠法令等	地方自治法、不動産登記法等											
関係補助金名称	サンセット											
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等しようとする部・課の職員									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等を適正に実施することができない									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等を適正に実施することができる状態											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 事業用地の取得、普通財産の処分、賃貸借等にあたり、建物及び工作物等の価格の算定を行う。 事業用地の取得にあたり、適正な補償金の算定を行う。 各事業用地の取得価格等を審査するため、外部委員が参画する不動産価格等審査委員会の運営を行う。 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	事業用地の取得、普通財産の処分、賃貸借にあたり価格の算定を行う。				事業用地の取得、普通財産の処分、賃貸借にあたり価格の算定を行う。				事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借にあたり適正な価格を算定するため庁内委員会(不動産価格等審査委員会)を開催する。							
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	指標説明				不動産価格、賃貸借の算定件数(当該年度)				庁内委員会(不動産価格等審査委員会)の開催回数(当該年度)							
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度				102%				100%							
	分析				処分案件がわずかに多かった。				想定通りであった。							
	単位				件				回							
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	事業用地の取得を円滑に行える。				事業用地の取得を円滑に行える。				事業用地の取得にあたり、適正な補償金を算定する。							
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	指標説明				補償金算定件数				補償業務発注件数							
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度				167%				167%							
	分析				想定通りであった。				想定通りであった。							
	単位				件				件							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,161	8,463	7,048		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,161	8,463	7,048		
	物件費計	21,634	43,803	39,810	47,500	84%
	歳出計	29,795	52,266	46,858		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	29,795	43,803	39,810	47,500	

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成は概ね想定通りであった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、所要の事務を円滑に処理できるようなアウトカムを意識したインプットとアウトプットを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		土地取得特別会計繰出金事務												
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部				課	財産管理課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務				
事業期間	不明			年度	~				年度まで					
根拠法令等	枚方市特別会計設置条例													
関係補助金名称								サンセット						
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方市土地取得特別会計											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		一定の基準等に基づき、一般会計から特別会計への繰出を行う必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	土地取得特別会計の収支均衡が図られ、維持している状態。													
事業概要	一定基準に基づき、一般会計から特別会計への繰出金を支出する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		単位		単位		単位		単位		単位			
	指標種類		減少することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	798	786		
	物件費計	44,422	0	0	0	—
	歳出計	46,025	798	786		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	46,025	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は一般会計からの繰出金支出は発生していない。 なお、土地取得特別会計のあり方については、土地開発公社の存廃とあわせて引き続き検討を進める。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	土地取得特別会計を活用した公共用地の取得が行われた場合には、一般会計からの繰出金支出を含め特別会計の収支均衡を維持していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市有資産等有効活用促進事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名		計画推進3-2.公共施設の適正化								
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁等										
関係補助金名称							サンゼット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		市有資産を有効活用することにより財源確保・歳出削減をめざす資産所管部署								
	サブターゲット		市有資産を有効活用することにより企業活動の促進をめざす事業者等								
	ターゲットが抱える課題		ネーミングライツや未利用地等、有効活用できる市有資産が多くあるので、有効活用を促進し、財源確保・歳出削減につなげたい。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	ネーミングライツの導入や未利用地等の有効活用を進めることで、財源確保・歳出削減を行う。それと同時に、事業者等は、市有資産を活用することにより企業活動の促進が図れる。										
事業概要	市有資産は原則としてすべて市有資産民間提案制度の対象資産であることを前提に、市有資産の所管部署と連携し、ネーミングライツの導入や未利用地等の有効活用を促進する。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
							ネーミングライツの導入、未利用地等の有効活用がなされる。				市有資産民間提案制度を活用する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明						ネーミングライツや未利用地等の有効活用を実施中の件数				市有資産民間提案制度に基づき毎年度募集する対象資産数			
	指標種類	単位					単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標(見込み)					10	12	14	16	20	20	20	20	
	実績					12	13			19	20			
	達成度						108%				100%			
分析						概ね目標どおり実施できた。				概ね目標どおり募集できた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人員については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,021	9,310	8,608		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	10,021	9,310	8,608		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	10,021	9,310	8,608		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	10,021	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	未利用地については一般競争入札による売却、ならびにネーミングライツについては以前に公募した施設について随時先着募集を開始するなど新たな取り組みを進めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	未利用地の売却を進めるほか、ネーミングライツについてはソフト事業への対象拡大を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産管理課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	R4年度(2022年度)			年度	~		年度まで				
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		財産管理課の職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・財産管理課運営庶務事務 ・行政財産目的外使用許可事務 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)											
	実績												
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	5,500		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	5,500		
	物件費計	—	—	68	158	43%
	歳出計	—	—	5,568		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	68	158	

5. 総括的分析

総括的分析 組織運営に係る事務・事業を適正かつ効率的に執行することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	組織運営に係る事務・事業をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。